

投資のソムリエ<DC年金>

追加型投信／内外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主に国内外の公社債、株式および不動産投資信託証券（リート）にマザーファンドを通じて実質的に投資し、それぞれの配分比率を適宜変更し、信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年7月12日～2023年1月11日

第19期	決算日：2023年1月11日	
第19期末 (2023年1月11日)	基準価額	11,245円
	純資産総額	37,919百万円
第19期	騰落率	△3.1%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

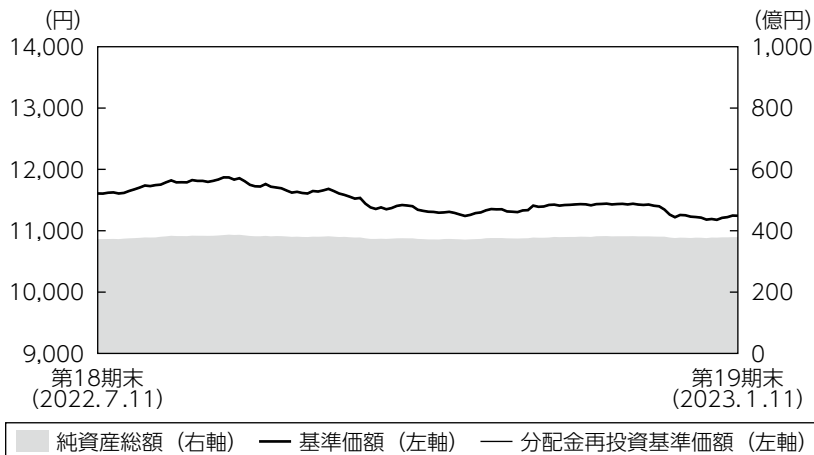
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第19期首： 11,608円
 第19期末： 11,245円
 (既払分配金0円)
 騰落率： △3.1%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

今期の債券市場は、日銀の金融政策修正や欧米各国中央銀行の利上げ等を受けて、金利は上昇（価格は下落）しました。株式市場では、今後の景気見通しや金融政策への期待が変化する中で一進一退の展開となりました。当ファンドは、相対的にパフォーマンスのよかった新興国株式等がプラスに寄与した一方、金利上昇の影響で国内債券や為替ヘッジ先進国債券等がマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	△2.6%
国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド	0.6%
為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	△4.9%
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	0.5%
J-REITインデックスファンド・マザーファンド	△3.5%
外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	△7.5%
エマーGING債券パッシブ・マザーファンド	△2.4%
エマーGING株式パッシブ・マザーファンド	△0.5%

1 万口当たりの費用明細

項目	第19期		項目の概要
	(2022年7月12日 ～2023年1月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	70円	0.610%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,494円です。
(投信会社)	(33)	(0.291)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(33)	(0.291)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(0)	(0.001)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.002)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.015	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.013)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	72	0.630	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

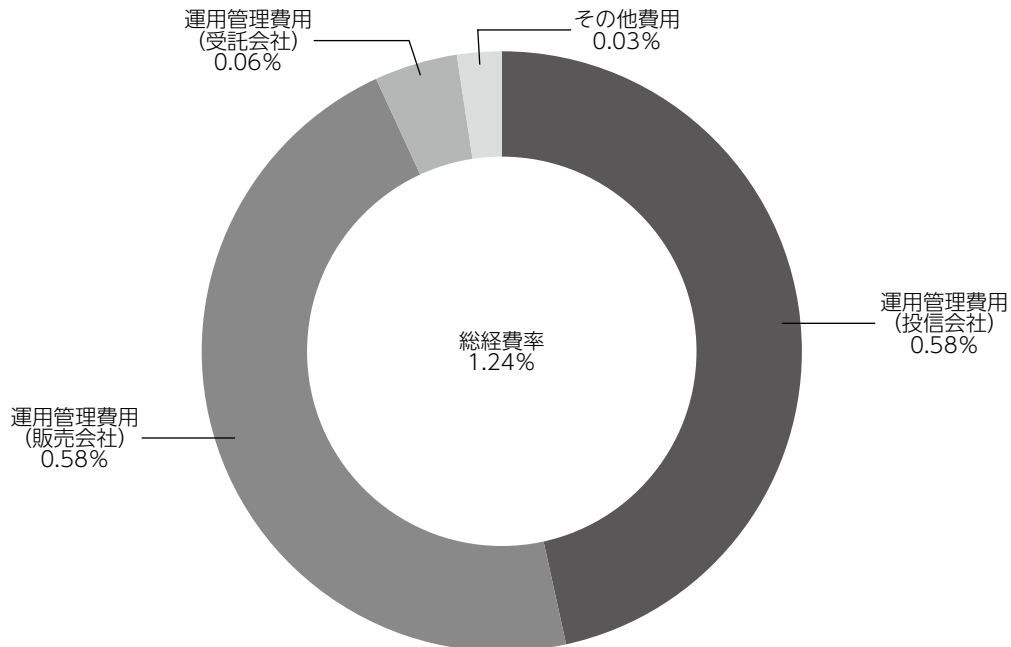
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.24%です。



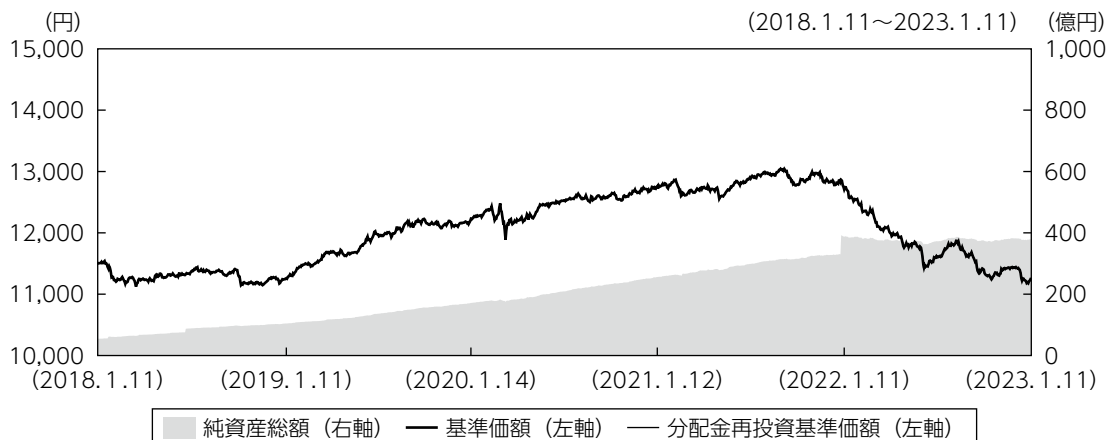
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2018年1月11日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2018年1月11日 期首	2019年1月11日 決算日	2020年1月14日 決算日	2021年1月12日 決算日	2022年1月11日 決算日	2023年1月11日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	11,516	11,260	12,229	12,761	12,707	11,245
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△2.2	8.6	4.4	△0.4	△11.5
純資産総額 (百万円)	5,476	10,452	17,149	25,616	38,723	37,919

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

投資環境

国内債券市場は下落（利回りは上昇）しました。期初から2022年12月中旬にかけては、欧米の主要中央銀行の金融引き締めに伴う世界景気の減速懸念や、米長期金利の上昇につれた動きなどが交錯し、国内債券市場の利回りは横ばいとなりました。12月下旬から期末にかけては、日銀が長期金利の変動幅を従来 $\pm 0.25\%$ から $\pm 0.5\%$ に拡大したことなどから利回りは上昇しました。

国内株式市場は、期初から2022年8月半ばまでは参議院選挙で自民党が圧勝したことや米国での利上げペースの鈍化などを受けて上昇しました。しかし、9月末にかけては世界景気の後退懸念などを要因として下落しました。その後、11月下旬にかけては、米国での長期金利の上昇の一服感などを要因として上昇しました。12月から期末にかけては、欧米の景気後退懸念の高まり、日銀による利上げ警戒感の高まりや円高進行などを要因として再び下落しました。

先進国債券市場では、米国債およびドイツ債の利回りはともに上昇しました。米国債は、消費者物価指数が市場予想を上回ったことなどから、インフレ抑制のためにF R B（米連邦準備理事会）が積極的な利上げを継続したことを背景に利回りは上昇しました。ドイツ債についてもドイツの生産者物価指数の伸び加速や米国債の利回りの上昇、E C B（欧州中央銀行）の金融引き締め観測などを受けて利回りは上昇しました。

先進国株式市場は前期末比で上昇しました。期前半は中国の景気支援策や米ハイテク企業の好決算から上昇しましたが、その後F R Bの利上げ継続姿勢や天然ガス価格の高騰による欧州の景気後退が懸念され調整しました。その後2022年10月の米C P I（消費者物価指数）の伸びが鈍化したことから、米国の利上げペースの減速期待により底堅く推移して期末を迎えました。

国内リート市場は下落しました。期前半は米国の利上げペース鈍化観測などを背景に堅調な推移となりましたが、2022年9月にF R Bが3回連続となる 0.75% の利上げを決定すると、米国の金融引き締めに対する警戒感が強まって下落しました。期後半は米国の金融引き締めペースを巡る思惑や相次ぐリートの公募増資発表による需給悪化懸念、日銀の政策修正への警戒感などから不安定な相場展開となりました。

外国リート市場はまちまちな結果となりました。米国リート市場は期半ばにC P Iの伸び加速を受けてF R Bの利上げへの警戒感が強まり下落しました。欧州リート市場は英国の経済対策への懸念に伴う金利急騰などを背景にフランス、スペインを除く市場で下落しました。オーストラリアリート市場は期半ばに下落した後に値を戻し、前期末比ほぼ横ばいで期末を迎えました。

新興国債券市場は上昇しました。2022年8月半ばまで上昇した後、インフレ懸念による米長期金利の上昇や、米中央銀行による金融引き締めなどにより、10月にかけて反落しました。その後は、米国物価統計の落ち着きにより米長期金利は低下し、スプレッドの縮小を伴いながら新興国債券も上昇に転じました。対米国債スプレッド（利回り格差）は、10月にかけて拡大したものの、期を通じては縮小しました。

新興国株式市場（円換算ベース）は前期末比でほぼ変わらずとなりました。期初、世界的に景気減速懸念がくすぶる中、中国の住宅ローン支払い拒否問題などもあって中国株が低調に推移する場面もありましたが、2022年8月に中国の予想外の利下げなどにより上昇しました。9月には米CPIの伸び加速からFRBの大幅利上げ継続による景気減速懸念が強まり下落しました。その後は中国によるゼロコロナ政策の緩和期待などから下げ幅を縮小して期末を迎えました。

為替市場では、ドル/円相場は、米国の金利が上昇し内外金利差が拡大したことや、日銀が金利上昇を抑制する姿勢を明確に示す中で2022年10月には1ドル=150円を超える水準まで円安が進みましたが、その後は政府・日銀による為替介入や日銀の金融政策修正から円高が進み、前期末比では円高ドル安となりました。ユーロは米国で利上げペースが減速したこと等を受けて対ドルで上昇、また対円でも円安ユーロ高となり上昇しました。

■ ポートフォリオについて

● 当ファンド

【基本配分戦略（月次）】

8つのマザーファンドおよび為替ヘッジに関する基本配分比率を月次で決定し、リバランスを行いました。期を通じ、安定資産へ55～65%程度、リスク性資産へ25～35%程度配分しました。

【機動的配分戦略（日次）】

資産価格の下落するリスクが高まったと判断したことから、リスク性資産については2022年9月下旬から10月下旬、安定資産については当決算期の大半の期間において、各資産への配分を下げる運用を行いました。

○ 当期末の資産配分

資 産		比 率	
安定資産	国内債券	18.8%	40.0%
	為替ヘッジ先進国債券	21.2%	
リスク性資産	新興国債券	7.6%	31.5%
	国内株式	3.5%	
	先進国株式	6.2%	
	新興国株式	6.2%	
	国内リート	5.4%	
	先進国リート	2.5%	
現金等		28.4%	

※1 比率は純資産総額に対する割合です。

※2 国内債券：国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、為替ヘッジ先進国債券：為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、新興国債券：エマージング債券パッシブ・マザーファンド、国内株式：国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド、先進国株式：外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド、新興国株式：エマージング株式パッシブ・マザーファンド、国内リート：J-REITインデックスファンド・マザーファンド、先進国リート：外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

●国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるNOMURA-BPI総合の銘柄入れ替えや、資金の流入・流出に応じて適宜債券の売買を実施し、リスク特性をベンチマークに極力一致させたポートフォリオを構築しました。

●国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド

ベンチマークである東証株価指数（TOPIX）（配当込み）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

●為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり）とリスク特性を極力一致させたポートフォリオを構築しました。

●外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

●J-REITインデックスファンド・マザーファンド

配当落ち以外の場合ではリートの子比率を高め、ベンチマークである東証REIT指数（配当込み）との連動性を保つように努めました。また、ベンチマークの構成銘柄の変更に応じたポートフォリオのリバランスを行い、資金の流入・流出に応じたきめ細かなポートフォリオ調整を実施し、ベンチマークと同等のリスク特性を維持しました。

●外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるS&P先進国REITインデックス（除く日本、円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）とポートフォリオのリスク特性を極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしました。

●エマージング債券パッシブ・マザーファンド

ベンチマークであるJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース・為替ヘッジなし）とポートフォリオのリスク特性を概ね一致させたポートフォリオを構築しました。なお、運用の基本方針で定められた格付による債券組入制限により、相対的に信用力の低い国の債券には投資しませんでした。

●エマージング株式パッシブ・マザーファンド

ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

分配金

当期の収益分配金につきましては基準価額水準および市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2022年7月12日 ～2023年1月11日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	2,847円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

● 当ファンド

基本戦略である基本配分戦略（月次）および機動的配分戦略（日次）に基づき、各マザーファンドの組入比率および為替ヘッジ比率を定め、安定した収益の獲得をめざします。

● 国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ポートフォリオのリスク特性をベンチマークに極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

● 国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果を目標としたパッシブ運用を行います。

● 為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

● 外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を概ね一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

● J-R E I Tインデックスファンド・マザーファンド

引き続き、リートの子比率を高め、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。ベンチマークの構成銘柄の変更に応じたポートフォリオのリバランスを行い、資金の流入・流出に応じたきめ細かなポートフォリオ調整を実施し、ベンチマークと同等のリスク特性を維持するよう努めます。

● 外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果を目標としたパッシブ運用を行います。

● エマージング債券パッシブ・マザーファンド

引き続き、ベンチマークの動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。

● エマージング株式パッシブ・マザーファンド

引き続き、ベンチマークの動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

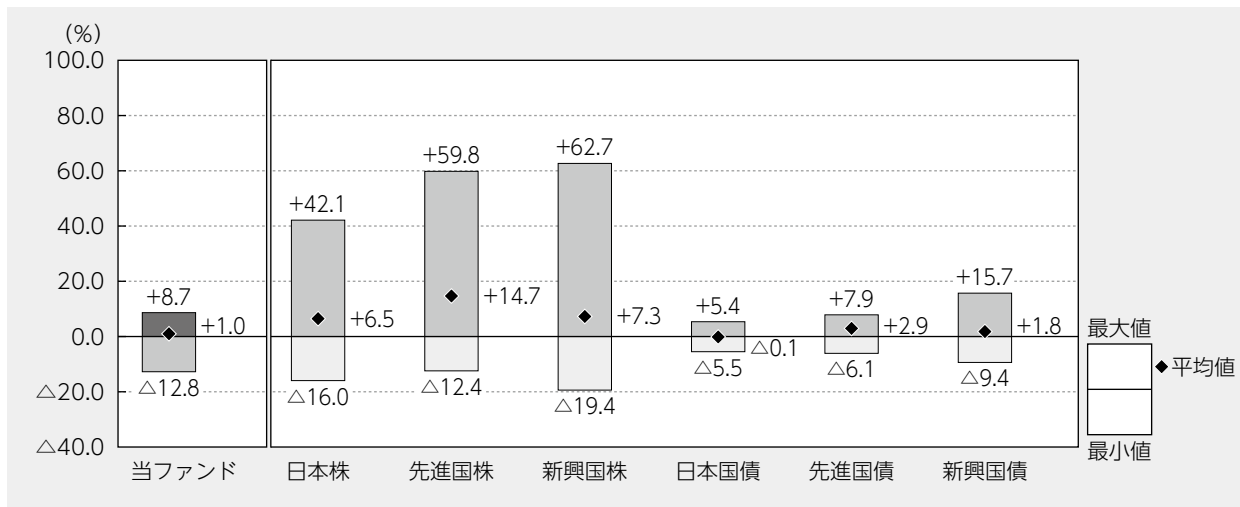
■機動的配分戦略（日次戦略）における資産配分に関するルールを変更しました。

(2022年10月12日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2013年10月31日から無期限です。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。	
主要投資対象	投資のソムリエ ＜ D C 年金 ＞	以下の各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、有価証券指数等先物取引等、指数に連動する投資成果をめざす上場している投資信託証券（ E T F ）、短期金融資産に投資する場合があります。
	国内債券パッシブ・ ファンド・マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	国内株式パッシブ・ファンド （最適化法）・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうち、東証株価指数に採用されている（または採用予定の）銘柄を主要投資対象とします。
	為替フルヘッジ 外国債券パッシブ・ ファンド・マザーファンド	海外の公社債を主要投資対象とします。
	外国株式パッシブ・ ファンド・マザーファンド	海外の株式を主要投資対象とします。
	J-REITインデックス ファンド・マザーファンド	東京証券取引所に上場し、東証 R E I T 指数に採用されている（または採用予定の）不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	外国リート・パッシブ・ ファンド・マザーファンド	日本を除く世界各国の不動産投資信託証券 [*] を主要投資対象とします。 [*] 海外の証券取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券とします。
	E マー ジ ン グ 債 券 パッシブ・マザーファンド	新興国の公社債を主要投資対象とします。
E マー ジ ン グ 株 式 パッシブ・マザーファンド	海外の証券取引所に上場している株式 [*] を主要投資対象とします。 [*] D R（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。	
運用方法	<p>国内外の公社債、株式および不動産投資信託証券（リート）に実質的に投資し、それぞれの配分比率を適宜変更します。</p> <p>外貨建資産は投資環境に応じて弾力的に対円での為替ヘッジを行い、一部または全部の為替リスクを軽減します。</p> <p>基準価額の変動リスクを年率4%程度に抑えながら、安定的な基準価額の上昇をめざします。</p> <p>[*]上記数値は目標値であり、常にリスク水準が一定であること、あるいは目標値が達成されることのいずれかを約束するものではありません。また、上記数値は当ファンドの長期的なリスク水準の目標を表すものであり、当ファンドが年率4%程度の収益を目標とすることを意味するものではありません。上記数値が達成されるかどうかを問わず、実際の運用成績がマイナスとなる可能性があります。</p> <p>基本配分戦略（月次）では、統計的手法を用い、ファンドに含まれる複数のリスク要因を抽出した上で、これらの各リスク要因からファンドが受ける影響が均等になるように各資産への投資比率（0%～100%）を決定します。</p> <p>機動的配分戦略（日次）では、市場リスクの高まりに対し、リスクが比較的低い資産の組入比率を増やす等、機動的に各資産への投資比率（0%～100%）を変更します。</p>	
分配方針	決算日（原則として1月、7月の各11日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2018年1月～2022年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2023年1月11日現在）

◆組入ファンド等

（組入ファンド数：8ファンド）

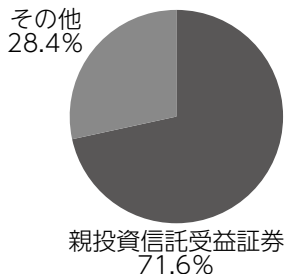
	当期末
	2023年1月11日
為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	21.2%
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	18.8
エマージング債券パッシブ・マザーファンド	7.6
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	6.2
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	6.2
J-R E I Tインデックスファンド・マザーファンド	5.4
国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド	3.5
外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	2.5
その他	28.6

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

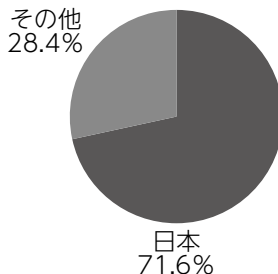
（注2）組入全ファンドに関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

（注3）現金等はその他に含めて表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

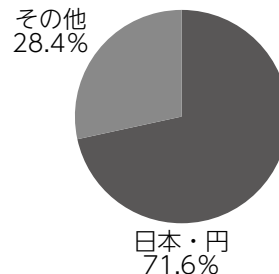
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注3）当ファンドの実質的な外貨建資産については、当ファンドにおいて弾力的に対円で為替ヘッジを行っています。なお、当期末における為替ヘッジ比率は17.5%（純資産総額に対する割合）です。

純資産等

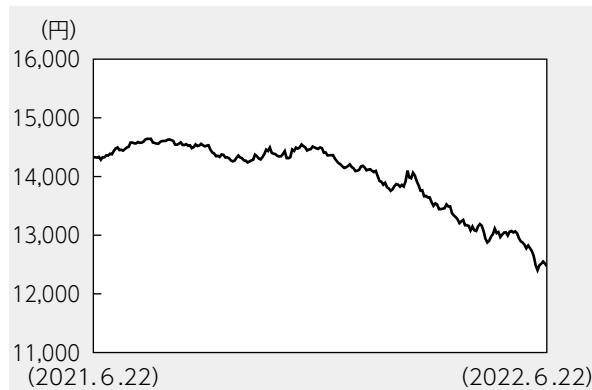
項目	当期末
	2023年1月11日
純資産総額	37,919,434,242円
受益権総口数	33,720,845,622口
1万口当たり基準価額	11,245円

（注）当期中における追加設定元本額は3,889,857,276円、同解約元本額は2,270,947,916円です。

組入ファンドの概要

[為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド] (計算期間 2021年6月23日~2022年6月22日)

◆基準価額の推移



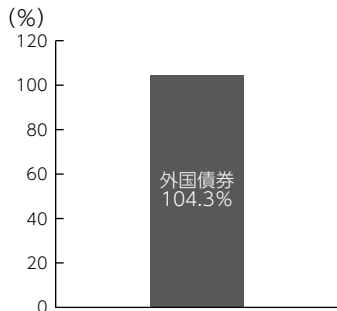
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 1.375 11/15/31	アメリカ・ドル	0.6%
US T N/B 0.875 11/15/30	アメリカ・ドル	0.6
US T N/B 1.25 08/15/31	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 0.625 08/15/30	アメリカ・ドル	0.5
FRANCE OAT 0.5 05/25/29	ユーロ	0.5
US T N/B 1.625 05/15/31	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 1.5 01/31/27	アメリカ・ドル	0.4
US T N/B 1.125 02/15/31	アメリカ・ドル	0.4
US T N/B 1.875 02/15/32	アメリカ・ドル	0.4
US T N/B 0.25 11/15/23	アメリカ・ドル	0.4
組入銘柄数	805銘柄	

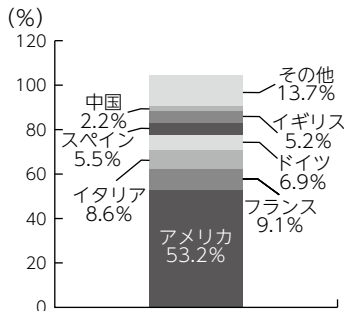
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	2円 (2) (0)	0.016% (0.014) (0.002)
合計	2	0.016
期中の平均基準価額は13,992円です。		

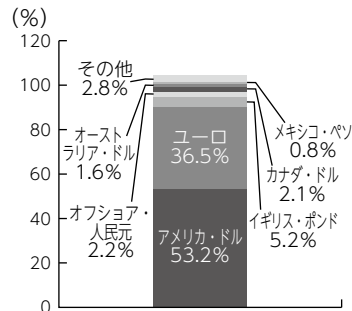
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

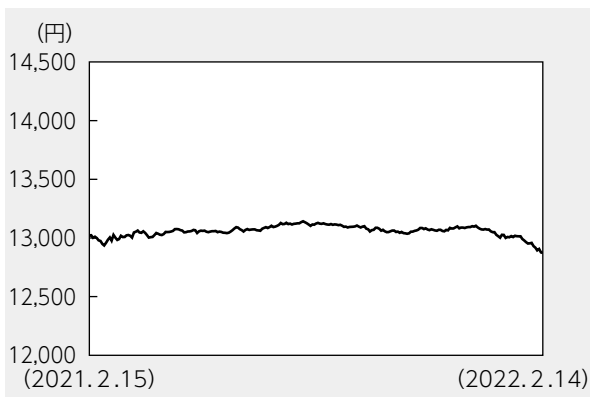


- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注6) 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行っています。
- (注7) 資産別配分、国別配分、通貨別配分については、現金等を考慮しておりません。
- (注8) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。
- (注9) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2021年2月16日～2022年2月14日)

◆基準価額の推移



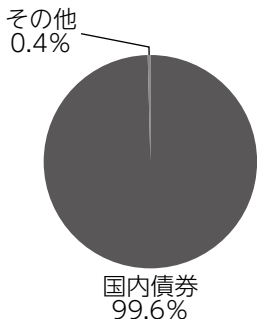
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
329回 利付国庫債券(10年)	日本・円	1.5%
339回 利付国庫債券(10年)	日本・円	1.2
338回 利付国庫債券(10年)	日本・円	1.1
344回 利付国庫債券(10年)	日本・円	1.1
144回 利付国庫債券(5年)	日本・円	1.0
350回 利付国庫債券(10年)	日本・円	0.9
345回 利付国庫債券(10年)	日本・円	0.9
347回 利付国庫債券(10年)	日本・円	0.9
138回 利付国庫債券(5年)	日本・円	0.9
348回 利付国庫債券(10年)	日本・円	0.9
組入銘柄数	714銘柄	

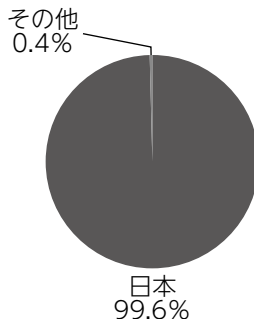
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

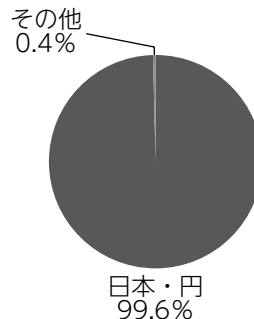
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

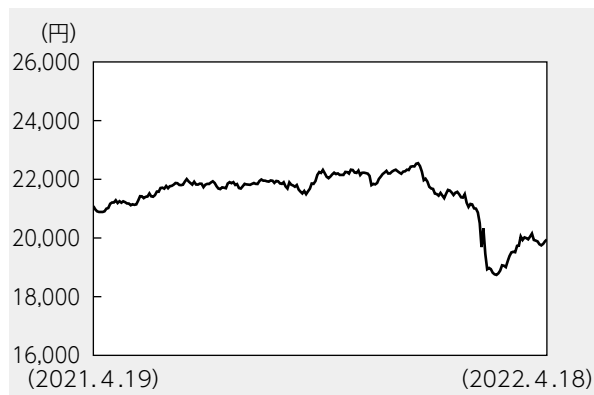
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【エマージング債券パッシブ・マザーファンド】 (計算期間 2021年4月20日～2022年4月18日)

◆基準価額の推移



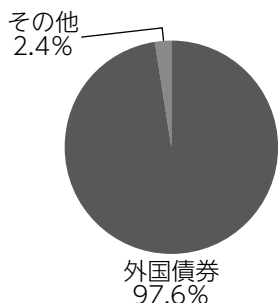
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
PERU 2.783 01/23/31	アメリカ・ドル	1.7%
HUNGARY 5.375 03/25/24	アメリカ・ドル	1.4
HUNGARY 5.75 11/22/23	アメリカ・ドル	1.3
PANAMA 6.7 01/26/36	アメリカ・ドル	1.3
COLOMBIA 5.0 06/15/45	アメリカ・ドル	1.2
PERU 5.625 11/18/50	アメリカ・ドル	1.2
BRAZIL 4.625 01/13/28	アメリカ・ドル	1.2
PANAMA 2.252 09/29/32	アメリカ・ドル	1.2
UNITED MEXICAN STATES 2.659 05/24/31	アメリカ・ドル	1.1
PANAMA 4.5 04/01/56	アメリカ・ドル	1.1
組入銘柄数	169銘柄	

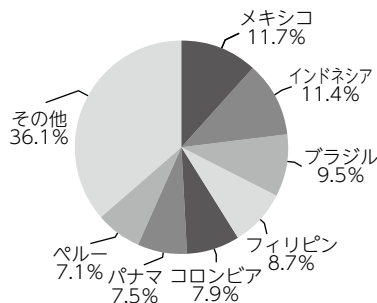
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用 (その他)	3円 (3) (0)	0.013% (0.013) (0.000)
合計	3	0.013
期中の平均基準価額は21,435円です。		

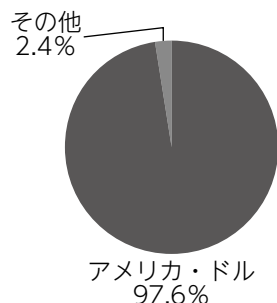
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

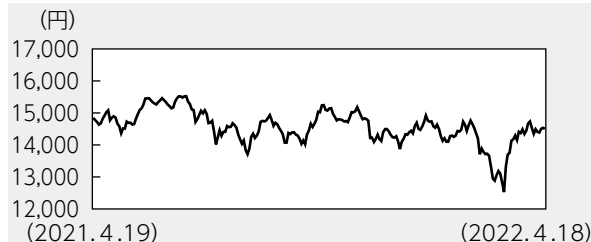


- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
 (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
 (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
 (注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。
 (注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
 (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【エマージング株式パッシブ・マザーファンド】

(計算期間 2021年4月20日～2022年4月18日)

◆基準価額の推移

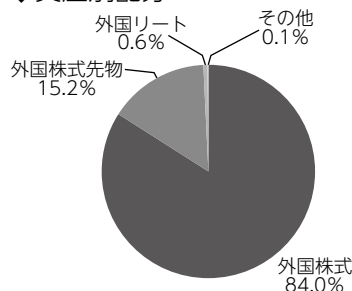


◆1万口当たりの費用明細

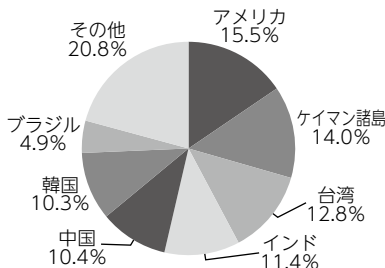
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	17円	0.116%
(株式)	(14)	(0.098)
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(2)	(0.016)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	27	0.189
(株式)	(27)	(0.189)
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	71	0.485
(保管費用)	(18)	(0.124)
(その他)	(53)	(0.361)
合計	115	0.789

期中の平均基準価額は14,559円です。

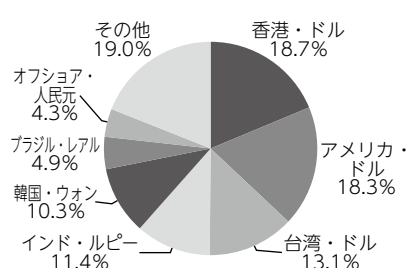
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	5.6%
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	3.2
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	3.1
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	香港・ドル	2.2
RELIANCE INDUSTRIES LTD	インド・ルピー	1.1
MEITUAN	香港・ドル	1.0
VALE SA	ブラジル・リアル	0.9
INFOSYS LTD	インド・ルピー	0.9
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	0.9
AL RAJHI BANK	サウジアラビア・リアル	0.7
組入銘柄数	1,303銘柄	

◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
MINI MSCI EMG MKT	買建	15.2%
組入銘柄数	1銘柄	

(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

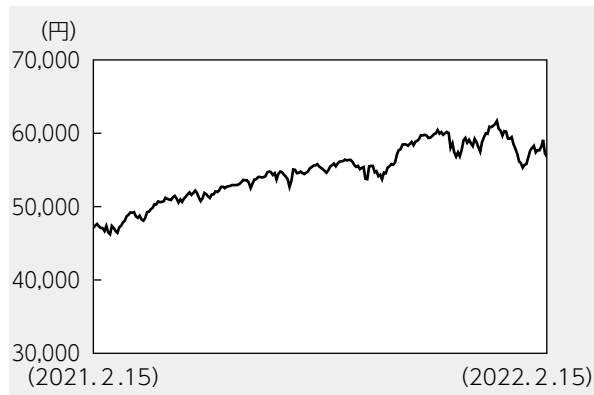
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) その他は、総資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。また、国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド】

◆基準価額の推移



(計算期間 2021年2月16日～2022年2月15日)

◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
APPLE INC	アメリカ・ドル	4.9%
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	3.7
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.5
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	1.4
ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	1.4
TESLA INC	アメリカ・ドル	1.3
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	1.1
META PLATFORMS INC	アメリカ・ドル	0.9
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ・ドル	0.8
UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ・ドル	0.8
組入銘柄数	1,284銘柄	

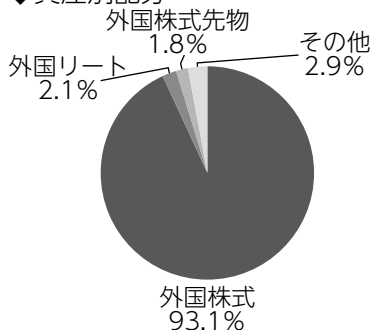
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	3円	0.006%
(株式)	(3)	(0.005)
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(1)	(0.001)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	14	0.025
(株式)	(14)	(0.025)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	22	0.040
(保管費用)	(0)	(0.000)
(その他)	(22)	(0.040)
合計	39	0.071
期中の平均基準価額は54,626円です。		

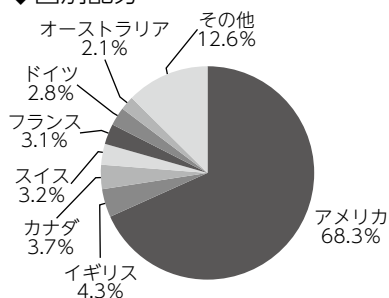
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
S&P500 EMINI FUT	買建	1.3%
DJ EURO STOXX 50	買建	0.3
FTSE 100 INDEX FUTURE	買建	0.1
S&P/TSE 60 IX FUT	買建	0.1
SPI 200 FUTURES	買建	0.0
組入銘柄数	5銘柄	

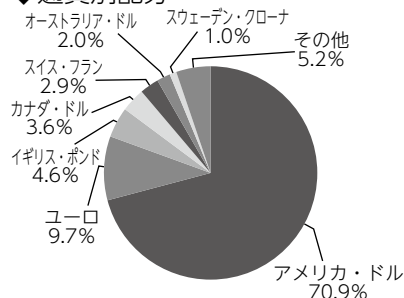
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

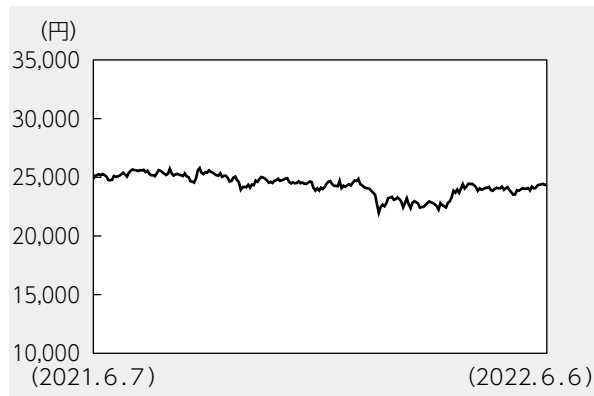
(注5) 国別配分は発行国（地域）を表示しています。

(注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。また、上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【J-REITインデックスファンド・マザーファンド】 (計算期間 2021年6月8日～2022年6月6日)
 ◆基準価額の推移 ◆組入上位10銘柄 (現物)



銘柄名	通貨	比率
日本ビルファンド投資法人	日本・円	7.3%
ジャパンリアルエステイト投資法人	日本・円	5.6
日本プロロジスリート投資法人	日本・円	5.0
GLP投資法人	日本・円	4.8
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	4.8
日本都市ファンド投資法人	日本・円	4.7
大和ハウスリート投資法人	日本・円	4.2
オリックス不動産投資法人	日本・円	3.2
アドバンス・レジデンス投資法人	日本・円	3.2
ユナイテッド・アーバン投資法人	日本・円	2.9
組入銘柄数	61銘柄	

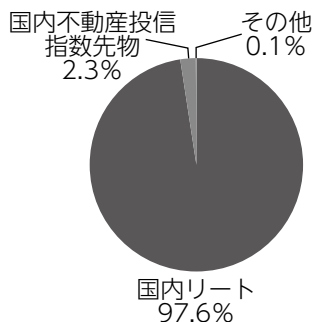
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	1円 (0)	0.003% (0.001)
(投資証券)	(1)	(0.002)
合計	1	0.003
期中の平均基準価額は24,325円です。		

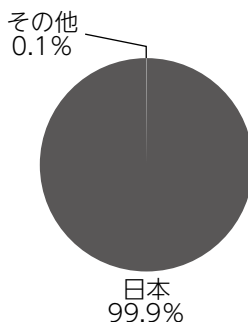
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
東証REIT	買建	2.3%
組入銘柄数	1銘柄	

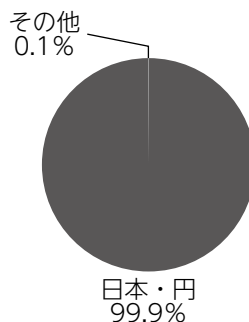
◆資産別配分



◆国別配分



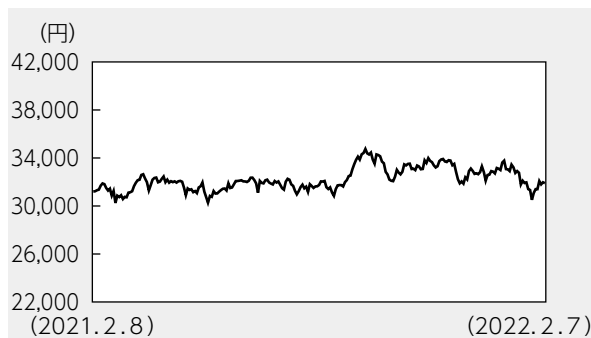
◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
 (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
 (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。
 (注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。
 (注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド】（計算期間 2021年2月9日～2022年2月7日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
トヨタ自動車	日本・円	4.3%
ソニーグループ	日本・円	2.9
キーエンス	日本・円	2.0
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	1.7
リクルートホールディングス	日本・円	1.5
東京エレクトロン	日本・円	1.3
日本電信電話	日本・円	1.3
任天堂	日本・円	1.2
信越化学工業	日本・円	1.2
ソフトバンクグループ	日本・円	1.2
組入銘柄数	2,174銘柄	

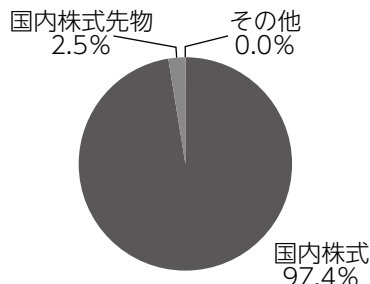
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	1円	0.002%
（株式）	(0)	(0.001)
（先物・オプション）	(0)	(0.001)
合計	1	0.002
期中の平均基準価額は32,238円です。		

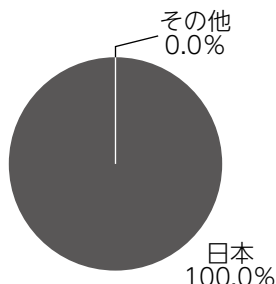
◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買	比率
TOPIX 先物	買建	2.5%
組入銘柄数	1銘柄	

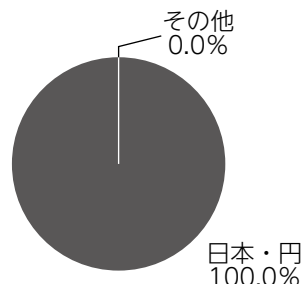
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

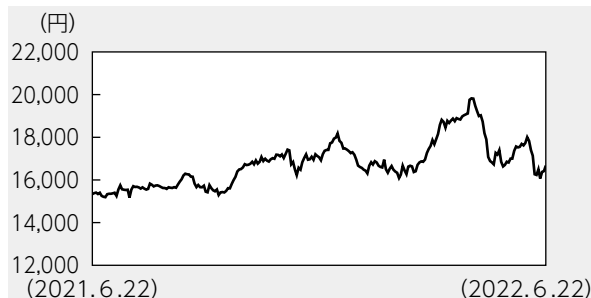


- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。
- (注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2021年6月23日～2022年6月22日)

◆基準価額の推移



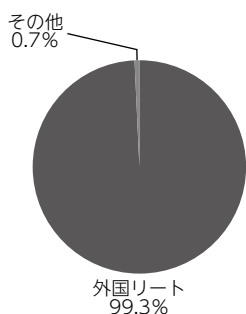
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	6.2%
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	4.4
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	3.5
REALTY INCOME CORP	アメリカ・ドル	3.0
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	2.7
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	2.7
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	2.4
VICI PROPERTIES INC	アメリカ・ドル	2.2
AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	2.0
EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ・ドル	1.8
組入銘柄数	328銘柄	

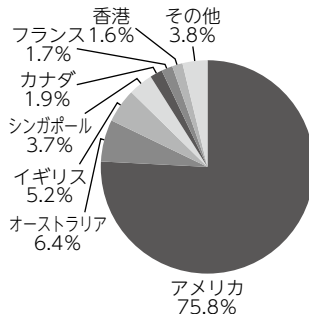
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	7円 (1) (6)	0.040% (0.005) (0.034)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	19 (1) (18)	0.114 (0.008) (0.106)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	15 (9) (6)	0.091 (0.054) (0.038)
合計	41	0.246
期中の平均基準価額は16,756円です。		

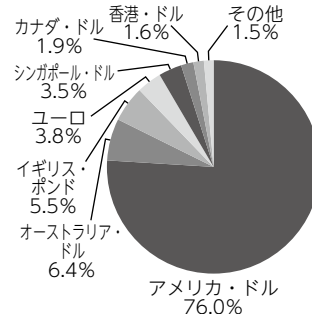
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
(注7) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。
(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

